

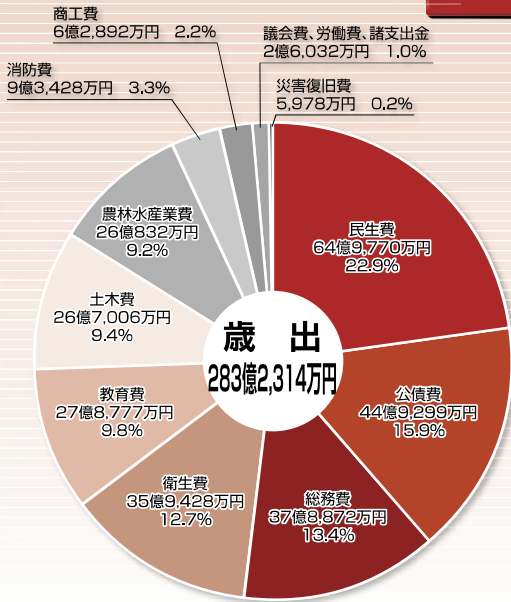
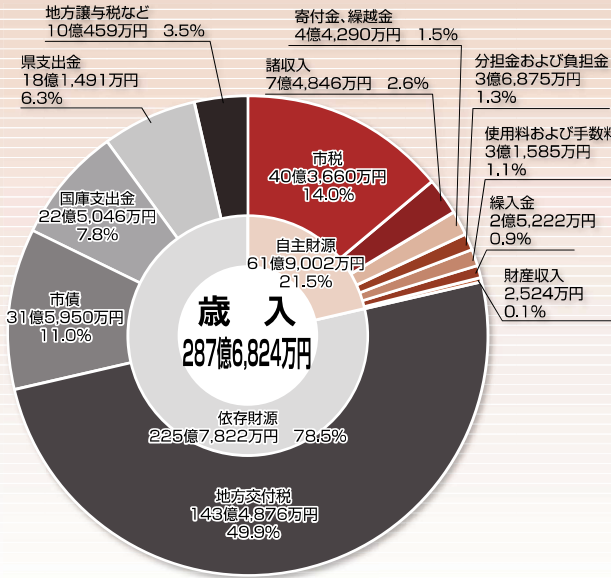
# 決算報告

平成28年度の決算が9月議会にて認定されましたので、お知らせします。

決算の問い合わせは  
財政課  
☎0854-40-1023

一般会計決算では、歳入決算額が287億6,824万円（対前年度比7.2%減）、歳出決算額が283億2,314万円（同7.5%減）で、歳入歳出差引残額が4億4,510万円となりました。なお、翌年度に繰り越すべき財源は64億7,600万円であり、実質収支は3億8,034万円となりました。

## 一般会計



## 普通会計



積立金現在高(平成28年度末) 110億6,407万円  
地方債現在高(平成28年度末) 337億 993万円

雲南ネット運営事業(CATV事業).....	1億1,388万円	臨時福祉給付金給付事業.....	2億1,310万円
公共交通対策事業.....	2億5,737万円	雲南市飯岡町事務組合負担金(清掃事業).....	6億4,185万円
地域づくり活動等支援事業.....	2億7,816万円	雲南広域連合負担金(環境).....	2億5,884万円
老人保護措置事業.....	2億 606万円	病院事業会計補助金.....	6億6,405万円
介護給付、訓練等給付事業.....	10億2,972万円	中山間地域等直接支払制度.....	2億7,108万円
福祉医療事業.....	1億1,405万円	地籍調査事業.....	2億 567万円
介護保険事業.....	7億4,883万円	道路維持・新設改良事業.....	7億3,300万円
子ども医療事業.....	1億6,241万円	小学校空調施設整備事業.....	3億 955万円
児童手当給付事業.....	5億2,776万円	災害復旧事業.....	5,978万円
		など	

### 主な財政指標

項目	数値	説明
財政力指数	0.251 (0.252)	財政基盤の強さを表す指標です。財政力指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強いことになります。
経常収支比率	89.8% (86.6%)	毎年経常的に支払わなければならない経費の状況から、財政運営の弾力性を測定する指標で、低いほど財政運営に弾力性があり、高いほど財政運営が硬直化している状況を示しています。
地方債現在高比率	182.4% (181.5%)	財政規模に対する地方債(長期に渡り返済する借金)の残高を表したもので、低いほど財政運営が安定しています。
健全化判断比率	該当なし(該当なし)	一般会計等(普通会計)を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率です。雲南市の場合は、12.57%以上で財政健全化団体に、20%以上で財政再生団体となります。
実質公債費比率	11.4% (12.4%)	公債費の水準を測る指標です。一般会計等(普通会計)が負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率であり、従来から用いられてきた「起債制限比率」を見直し、実態をより正確に把握するため、公営企業会計に対する繰出金のうち元利償還金相当分などが要素に加えられています。この比率が25%以上になると財政健全化団体に、35%以上で財政再生団体となります。
将来負担比率	81.8% (79.0%)	地方債の残高をはじめ一般会計等(普通会計)が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率です。350%以上で財政健全化団体となります。
資金不足比率	該当なし(該当なし)	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率です。比率は各公営企業会計毎に算定することされており、20%以上で経営健全化団体となり、財政健全化団体と同じように、公営企業の経営の健全化を図る計画を策定しなければなりません。

### 特別会計

会計	区分	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引残額
国民健康保険(事業勘定)	国民健康保険事業(事業勘定)	52億2,721万円	51億7,689万円	5,032万円
	国民健康保険事業(直営診療施設勘定)	1億2,552万円	1億2,407万円	145万円
後期高齢者医療事業	10億9,730万円	10億8,888万円	842万円	
農業労働災害共済事業	444万円	443万円	1万円	
簡易水道事業	7億7,252万円	7億5,375万円	1,877万円	
生活排水処理事業	27億4,413万円	27億3,977万円	436万円	
財産区	38万円	38万円	0万円	
土地区画整理事業	9,442万円	9,410万円	32万円	

◎ は一般会計と合わせて普通会計に含まれる特別会計。

### 監査委員の審査意見書から

財政健全化法に基づく財政指標である実質公債費比率、将来負担比率についてはいずれも早期健全化基準を下回っている。今後もさらに比率の低減に努め、財政の弾力化を図る必要がある。

行政改革の取り組みについては、引き続き組織機構の見直し、職員数の削減・給与カットなどを行っており、交付税の一本算定が目前に迫る中、起債の繰上償還を一般会計で2億7,603万円実施することができた。今後も財政健全化に向けて一層の努力を図らねばならない。

平成28年4月に「出雲國たたら風土記」の日本遺産認定、7月に映画「たたら侍」のオープンセットを活用した「出雲たたら村」開催、11月に「中心市街地活性化基本計画」の内閣総理大臣認定がされ、観光や商工業などの産業振興に弾みがついた。

人口減少や少子高齢化、交流センターを拠点とした地域づくり活動の推進、公共施設の老朽化への対応、道路や橋梁維持の予算確保など、これらの多くの課題を解決し、市民の暮らしを守っていくことは、健全な財政基盤があってはじめて可能となる。また、現在建設中の雲南市立病院や掛合総合センター・交流センターをはじめ、今後数年間に大規模な施設改修や建設が多く予定されており、財政状況を確保しつつ事業の推進を図り、第2次総合計画の実現に向けて、多様な行政課題に取り組んでいただくよう努められた。

財政健全化への取り組みにあたっては、行政評価制度を十分活用し、市民への説明責任を果たしながら、公平かつ簡素で効率的な行政システムの構築に努め、最小の経費で最大の効果が上がる財政運営を推進し、市民福祉の向上と市勢の発展に努められることを望む。